

2番 柴立 豊子 議員

1 食料安全保障について

- (1) 食料安全保障についてどのような見解を持っているか。
- (2) 世界的に食料不足が起こるといわれている。日本の食料確保のために、農業が基幹産業である本市の役割をどのように考えるか。
- (3) 既に輸入飼料や肥料の高騰で農業を継続する意欲を失っている農家もある。農業従事者を減らさないことが重要と考えるがどうか。そのためには今、どのような援助が必要と考えるか。
- (4) 政府は 2050 年までに達成すべき目標を「みどりの食料システム戦略」として打ち出している。当面 2030 年までの目標が掲げられているが、本市で達成に向けての取組はどのように進んでいるか。

2 重要土地等調査法について

- (1) 9月から施行されることになっている重要土地等調査法では、市民生活が様々な規制を受ける。市民への説明はどのようにされるのか。
- (2) 官報で発表があってから詳細が分かるということだが、本市においてはどのようにになっているか。
- (3) この法律が制定される時様々な問題が指摘された。そのことはクリアされたのか。
- (4) 米軍の基地使用が始まる本市では、指定される地域は基地周辺はもちろんだが、宿泊ホテルなどは入らないといえるのか。

2番 柴立 豊子 議員

3 米軍無人偵察機MQ-9について

- (1) MQ-9は国際的に攻撃型無人機と捉えられている。それについての見解はいかがか。
- (2) 日米地位協定2条4項(b)による協定は自衛隊基地の米軍との共同使用という条文である。ということは一時的であっても米軍基地化されたと考えるがいかがか。
- (3) 政府はコロナ対策で入国制限を緩和しているが、米軍は検査を受けて入国ということは守られるのか。
- (4) 受け入れ容認が決まった途端、疑問や問合せは全て「米軍の運用に関わる」として回答されない。結局地元住民は蚊帳の外になるのではないか。
- (5) 7月に逗子市で発生した米兵による傷害事件は、米兵はすぐ釈放され、起訴もされなかった。この事件に関してどのような見解を持たれているか。